

研究・イノベーション学会 第35回年次学術大会
公開企画セッション

「紀要の魅力と大学の役割」

(共催：紀要編集者ネットワーク)

開催日時：2020年10月31日 18時-19時20分 (オンライン開催)

国際ジャーナルへの投稿実績および引用数が重視される業績評価、研究以外の業務に従事する時間の増大、厳しい財政状況などの影響をうけ、廃刊、刊行回数を減少または刊行期間を延長する紀要が増えてきている。一方で扱うテーマ、ページ数、レイアウトが比較的自由な紀要を再評価する動きもでてきている。

本セッションは、激化する大学のグローバル競争、厳しい財政状況、WEBサイトやSNSなど情報発信手段の多様化など大学をめぐる社会状況が急速に変化していく中で、「今後の紀要のあり方」について様々な立場の参加者と討議することを目的とする。

報告者

高橋 愛典氏 (近畿大学 経営学部 教授)

「私、紀要の味方ですー研究・イノベーション (学会) への貢献に向けてー」

設楽 成実氏 (京都大学 東南アジア地域研究研究所 助教)

「今、紀要に追い風が吹いている」

天野 絵里子氏 (京都大学 学術研究支援室 リサーチ・アドミニストレーター)

「紀要の再発見」

モデレーター

原田 隆氏 (東京工業大学 情報理工学院 リサーチ・アドミニストレーター)

当日使用スライドは紀要編集者ネットワークのウェブサイトにて公開されております。

<https://kiyo.cseas.kyoto-u.ac.jp/>